

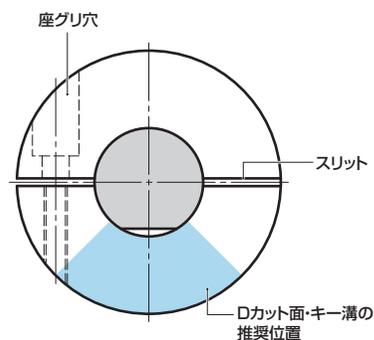
Dカット軸への取り付け

● クランピングタイプの場合

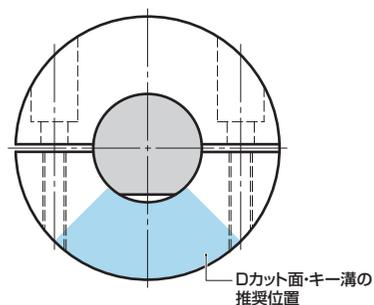
クランピングタイプを使用する場合、軸は原則として丸軸を使用してください。

Dカットやキー溝付きの軸を使用する場合は、Dカット面またはキー溝を、スリットおよびボルト用の座グリ穴を避ける位置にして取りつけてください。

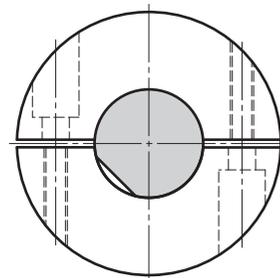
● 六角穴付きボルト1本のクランピングタイプの場合



● 六角穴付きボルト2本のクランピングタイプの場合



● MDW MDS XRP XBW XBWS XBS XBSSの場合



⚠ Dカット面やキー溝が推奨位置ではない場合、六角穴付きボルトの締めつけにより、クランプ部に過剰な負荷がかかり破損することがあります。

● セットスクリュータイプの場合

セットスクリュータイプを使用する場合、Dカット面を止めねじの位置にして取りつけてください。

